

# 湛水土中(カルパー)直播栽培特報 第1号

**播種～苗立ちまでのポイント(コシヒカリを中心に)**

- ① 播種深度は5～10mmとし、60本/m<sup>2</sup>(18本/m)程度の適正苗立本数の確保
- ② 土壌条件に応じた基肥基準量の厳守(移植栽培より1割程度減肥)
- ③ 播種後の田干しの実施(苗立ちの安定化)

## ほ場準備(耕起～代かき)

- ・ほ場の均平が悪いと播種ムラや出芽ムラが発生しやすくなります。耕起から砕土・整地の作業は、移植より丁寧に行いましょう。
- ・代かきは、少なめの水で行い、稲株や雑草をしっかりすき込みましょう。ただし、ねり過ぎないように注意しましょう。
- ・代かきから播種までの日数は、砂壤土1～2日、壤土2～3日を目安にしましょう。

## 基肥

- ・基肥は、窒素成分で移植栽培の1割程度の減肥としましょう。(表1)。
- ※大豆跡田では、倒伏の危険性が高いので、コシヒカリの直播は避けましょう。やむをえず行う場合は、分施肥系としましょう。

表1 施肥基準

品種	肥料名	土質	施用量(kg/10a)	N成分(kg/10a)	分施N成分(kg/10a)
コシヒカリ	LPss 直播コシヒカリ	砂壤土	35	7.4	3.5
		壤土	30	6.3	3.0
てんこもり	LPss 晩生専用	砂壤土	40	8.4	4.0

## 播種

- ・播種の適期は、4月25日～5月10日頃です。
- ・播種前の落水は、播種作業が午前中の場合は前日の夕方に、午後の場合は当日の早朝を目安とし、土壌条件や気象条件に応じて行いましょう。

表2 播種作業の目安

播種量		播種深度(地表面から)
乾籾重量	落下粒数	
2.5～3.0kg/10a	28～33粒/m	5～10mm

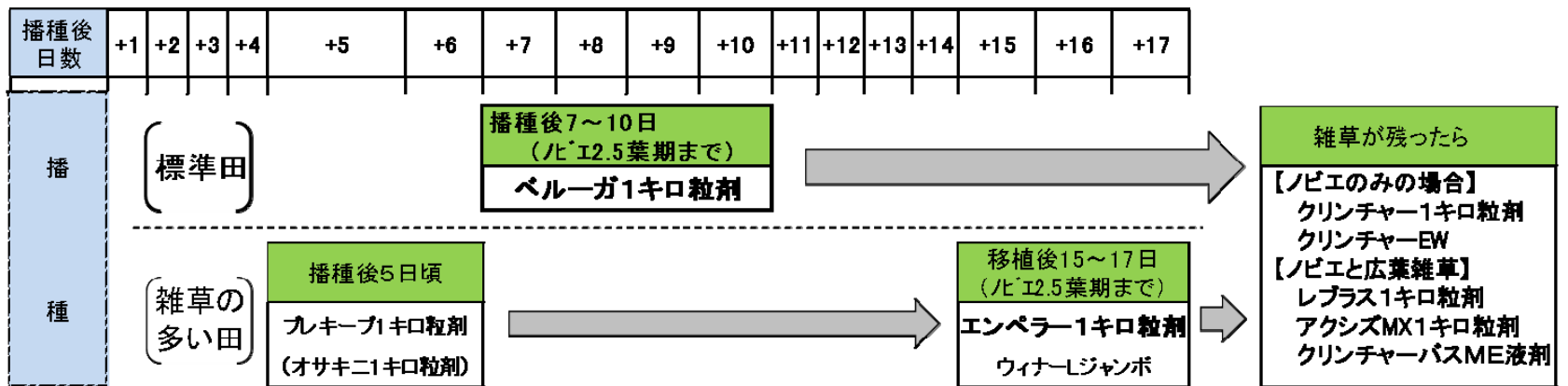
## 播種後の水管理

- ・ほ場の透水性に応じ、土壌表面に軽く亀裂が入るまで5日程度の田干しを行いましょう。
- ただし、強い降雨や強い風が吹く場合には入水しましょう。
- ・播種後、覆土が不十分で鳥害が懸念される場合は、田干し前に半日程度湛水しましょう。
- ・田干し後は、浅水管理を徹底し、初期分けつの確保に努めましょう。



足を踏み入れ、2～3cmしか沈まなくなった時期が入水の目安

## 除草剤の散布



- ・除草剤は、使用時期の範囲内で遅れないように散布しましょう。
- ・田面の亀裂が大きい場合は、入水後、減水が落ち着いてから散布しましょう。

## 鳥害対策

- ・カモ：ほ場に糸やテープを張り、侵入を防ぎましょう。侵入した場合は、落水し被害を最小限に抑えましょう。
- ・スズメ：籾が露出した部分で被害が出やすいので、播種後に籾が露出している場合は半日程度湛水しましょう。スズメが侵入した場合は、速やかに入水してください。
- ・カラス：カラスは、スズメやカモのような水管理による対策は困難です。カラスが多い場所での直播は避けましょう。

春の農作業安全運動展開中(4/1～5/31まで)